

山行報告書

山行管理部

ターブル 金剛山 2月21日 L 藤井・堀野 参加9名

金剛登山口10:08～黒樺谷～セト11:05～金剛山11:50(昼食)、12:30～ちはや園地～伏見峠～ロープウェイ前14:55

前日の朝方までの嵐も止み、青空のもとスタート。頂上に近づくにつれ雪が残っており雪の感触を踏みしめながら鳥の鳴き声に癒されながら順調に頂上に着く。下山は念の為にアイゼンを装着し、ログハウスで休憩をとる。中は薪ストーブが赤々と燃えており、暖をとりながらのコーヒータム、あまりの心地よさにいつまでも居たい気分を振り切り、ちはや園地の中を覗く。そこには金剛山に生息する季節ごとの野鳥のパネルが展示されており、種類の多さに驚かされる。あいにく樹氷は見られなかったが、Iさんの事前チェックで、ちはや園地の遊歩道を歩くと雪の中から春を告げる福寿草の花やつぼみが顔を出しており、シャッターチャンスに恵まれた山行となりました。(藤井 記)

教育部 六甲 地獄谷 3月6日 L高桑・木村 参加9名

阪急芦屋川 → 高座の滝 → 中央稜 → 高座川 → 高座の滝 → 地獄谷

→ 風吹岩 → 保久良神社 → 阪急岡本

- ①高座の滝から風吹岩まで体をほぐすために15キロ以上の斤量でボッカ訓練、後に高座の滝に戻る
- ②地獄谷の登りでアイゼン、ピッケルワークの訓練
- ③砂山ではアイゼンワークと急斜面の下降時のロープワークの訓練
- ④訓練後の息抜きに保久良神社梅林と岡本の梅林を鑑賞

以上の訓練を各自が自覚を持って真剣に取り組んだ姿で前穂への手応えを感じられる一日であった。(高桑 記)

土曜山行 堂山、笹間が岳 3月12日 L猪瀬・堺・原 参加22名

登山口 9:15 ~ 堂山10:15 ~ 鎧ダム11:30 ~ 昼食12:10 ~ 迎不動12:35 ~ 大河原分岐13:45 ~ 笹間が岳14:25 ~ 上関バス停15:30(解散)

寒さ緩み、風もなく好天に恵まれスタート。低山ではありますが、岩場あり、ロープあり渡渉あり、沢歩きありのバラエティーに富んだコース……。最初の渡渉は川ポチャが心配されましたが、全員無事に渡れて一安心。堂山の下りは一人ずつロープを使って降りたり、岩と岩の狭い間を通ったり、滑りやすいザレ場があったり、緊張の連続でしたが、無事に通過出来てホッとしました。尾根歩きでは、比良の山々や琵琶湖の景色を堪能し、馬酔木やミツバツツジに心癒されました。全員無事に下山出来たことに感謝です。(猪瀬 記)